



平成 28 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西永 裕司
(コード番号 2533 東証第一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
牛込 真澄 (TEL 03-3575-2777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 7 月 29 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 81,400	百万円 1,700	百万円 1,500	百万円 600	円 銭 9.56
今回修正予想(B)	80,500	2,050	1,800	600	9.56
増減額(B-A)	△900	350	300	—	
増減率(%)	△1.1	20.6	20.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 12 月期)	82,325	1,619	1,422	237	3.79

2. 修正の理由

売上高においては、CM効果が起因した「北海道ビッグマン」をはじめとする甲類焼酎、全国的に根強い人気を博している「博多の華」を中心とした乙類焼酎が前年を上回る見込みとなるほか、販売用アルコールについても大きく増進する見込みであります。しかしながら、市場の停滞や競争激化により酒類事業全体では減少し、酵素医薬品事業でも主力の輸出用ラクターゼ(乳糖分解酵素)が、前年より数量は増加するものの為替の影響を大きく受け減少することもあり、前回予想を下回る見込みであります。

一方、営業利益、経常利益においては、第3四半期までと同様に、原材料価格やエネルギーコストの低減のほか、物流費の削減をはじめとする利益率の改善努力が実を結んだ結果、前回予想を上回る見込みであります。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益においては、経常利益は増加いたしますが、特別損益、税金費用が現時点では未確定のため、前回予想から変更しておりません。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上